

預言者 — 神の愛のしるし

十二使徒定員会
ウリセス・ソアレス長老

ラッセル・M・ネルソン大管長が地上における神の預言者であることを証したいと思います。ネルソン大管長ほど優しく愛の深い人に会ったことはありません。わたしは十二使徒定員会の一員として、この神聖な召しを果たすに十分な力が自分がないことを痛感しましたが、この責任を伝えるネルソン大管長の言葉を聞き、その優しいまなざしを見て、救い主の愛に包まれるのを感じました。

主の御心を知ろうと努め、御心に従おうと努力している預言者、聖見者、啓示者が、わたしたちの生きているこの時代に地上にいることは、すばらしい祝福です。人生で困難があっても、自分がこの世で独りでないことが分かると、心が安らぎます。預言者がいることは、神がその子供たちを愛しておられることのしるしです。預言者は、主の民に神とイエス・キリストの約束を知らせ、御二方がどのような御方なのかを教えてください。

預言者は聖なる御霊の力によって語るということを、わたしは心の底か

ら証します。預言者はキリストと、キリストが地上で果たされた神聖な使命について証してくれます。主の思いと御心を伝える人々であり、主を代表し、神と御子イエス・キリストのみもとに帰るために何をしなければならぬかを教えるために召されています。信仰を働かせて彼らの教えに従うならば、祝福されます。彼らの教えに従うならば、幸せになり、煩いが少なくなり、困難や問題に耐えるのが容易になります。また、霊的なよろいでも身を固めて、今の時代の敵の攻撃から自分を守ることができるようになります。

イエス・キリストはよみがえり、生きておられ、地上にある主の教会を主の預言者、聖見者、啓示者を通して導いておられることを、厳粛に証します。主が世の救い主、贖い主であられ、主を通してわたしたちが救われて、愛する神の御前に昇栄できることを証します。わたしは主を愛し、あがめています。主に従い、主の御心を行い、さらに主のような者になりたいと思っています。■

2018年4月の総大会説教から。



1958年10月2日
ブラジル、
サンパウロで
生まれる。

6歳のときに
家族で教会に加わった。

専任宣教師として

ブラジル・
リオデジャネイロ伝道部
で奉仕した。



教皇庁立
サンパウロ・
カトリック大学
に通った。

(会計学と経済学で
学士号を、経営学で
修士号を取得。)

1982年10月、
ブラジル・
サンパウロ神殿
でロサナ・
フェルナンデスと
結婚。
3人の子供と
3人の孫がいる。



母語のポルトガル語の
ほかに、
英語、フランス語、
スペイン語を話す。

2018年3月31日、

使徒として
支持される。

